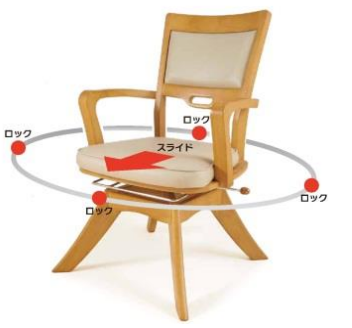
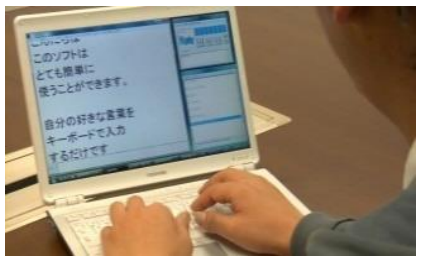
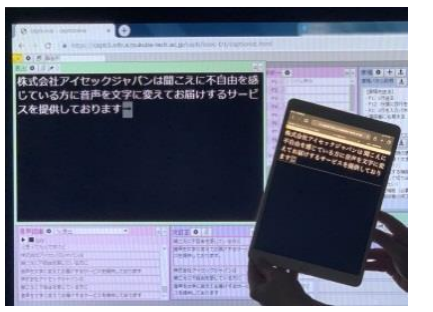
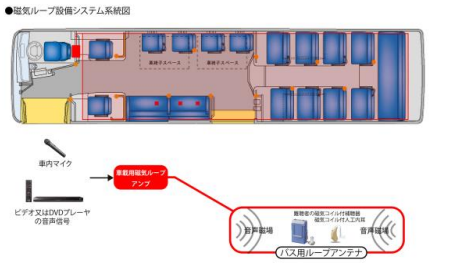
シーズ・ニーズマッチング交流会２０１９　福岡会場２９企業・団体一覧　【令和元年１０月７日現在】

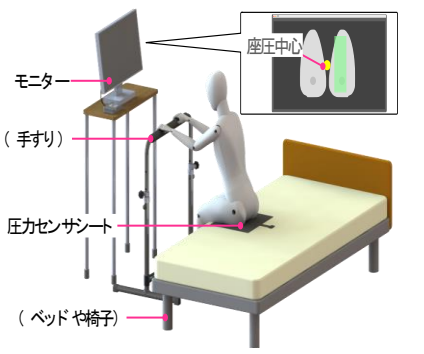
	企業・団体名	製品名	製品概要	製品ジャンル	製品画像
1	アスカ株式会社	歩行補助ロボット　ＷＰＡＬ－Ｇ	対麻痺者用歩行補助ロボット。車いすから立ち上がり自立歩行ができます。立位安定性に優れ、両手を離してバランスを取ることが容易です。調節機構により複数の方に対応できます。ユーザーに応じて最適な歩行パターンを作成できます。短時間の訓練で立位、歩行ができます。	ロボット技術を活用した支援機器、脳科学の成果を応用した機器	
2	株式会社オフィス・ラボ	ピタットチェアEX	脚が不自由な方、まひのある方向けの食堂用回転椅子。 ９０度ごとに自動的にロックが 掛かるため、立ち座りの際の転倒事故を予防。また、座面が前後にスライドする機能が ありテーブルへの引き寄せ動作を軽い力で行うことができる。 スライド機能は前と後ろで 自動的にロックが掛かり安全。ロック解除は自立に役立つ前方下部と介助者が操作する 後方にあり介護負担の軽減にもつながる。	肢体不自由者の自立支援機器	
3	株式会社 トマト	自立型　電動昇降式トイレベッド　わかば　（TMT-1904-F/S）	座敷トイレに変わる電動昇降式トイレベッド。様々な便器と組み合わせでき、便器開口に合わせてベッド面に穴が開いている。無段階で43.5㎝～83.5㎝まで電動昇降の為、様々な車椅子の高さに合わせる事が可能。車椅子をセットできるトランスファーテーブル仕様。自立にてベッド面への移乗が可能。角度が変わる背上げマットを使用し座位姿勢を保持する事が可能。	肢体不自由者の自立支援機器	調整中
4	りゅうぐうのつかい（ブリッシモ株式会社）	アイシャツ	Iシャツは服を着ることが困難な方でも、外出時や、来客が来た時に気軽におしゃれが出来るように考えて作られました。シャツに薄手のカーディガンや、ネクタイを合わせることで見た目を大変身させることができます。更に、使い終わったアイシャツを巻くとショールにできるようになっています	肢体不自由者の自立支援機器	
5	株式会社エンサウンド	抱っこスピーカー・ハグミー	「ハグミー」は耳の聞こえない人も、聞こえる人も音楽を楽しむことのできる、円筒形の抱き枕型スピーカー。特許技術により、スピーカーから出てくる音を振動でも楽しめるよう工夫してあります。 　ぬいぐるみのような肌触りのスピーカーは、今までの振動スピーカーでは味わえなかった細かな振動と、音質の良さで、家庭でもコンサートでも、癒やし分野でもご活用いただけます。	障害者のコミュニケーション、レクリエーション活動を支援する機器	
6	株式会社プラッツ	ミオレットⅢ・ミオレットⅡ用スイッチ接続キット（PE07-S1）	意思伝達装置によるベッドの操作を可能にするための接続キットです。 ベッドの改造を必要とせず、簡単にベッドと意思伝達装置の接続が可能となり、手元スイッチの操作が困難な方でもベッドの昇降やリクライニングなどの操作ができるようになります。	障害者のコミュニケーション、レクリエーション活動を支援する機器	

	企業・団体名	製品名	製品概要	製品ジャンル	製品画像
7	一般社団法人 日本言語聴覚士協会		聴覚、発声・発語のコミュニケーション障害者や嚥下障害者を支援する言語聴覚士の職能団体です。 自立支援機器を使用される方と開発される企業との橋渡しを担います。 コミュニケーション障害による生活のしづらさの解消についての相談なども行います。	障害者のコミュニケーション、レクリエーション活動を支援する機器	
8	アドプラス	耳鼻科受診絵カード（仮称）	自閉症・発達障害の方は治療を受けるのにどのような事をされるのかわからず不安を抱くことが多いようです。 治療の手順や機器の使い方をイラストにして説明することで、少しでも不安を軽減するのが目的です。わかりやすいように本人が治療を受けるときの目線でイラストを作成しています。	障害者のコミュニケーション、レクリエーション活動を支援する機器	調整中
9	九州工業大学・齊藤剛史研究室	読唇技術デモンストレーションアプリLiP25w	病気等で声を失った方などと円滑にコミュニケーションを取るために、音声を使わずに唇の動きのみで発話内容を読み取る読唇技術があります。本研究室では、読唇技術を用いたコミュニケーション支援の実用化を目指し、デモンストレーション可能なWebアプリケーションLiP25wを開発し、2018年12月より一般公開しています。本アプリは無料で利用可能ます。	障害者のコミュニケーション、レクリエーション活動を支援する機器	
10	株式会社ヒューマンテクノシステム東京	自分の声ソフトウェア ボイスター	キーボード等から入力したテキストを「自分の声」で再現する音声合成ソフトウェアです。 ・ 録音した声を、加工せずに利用する技術により、高い本人性の再現が可能です。 ・ 声を失われる方の、失声後の代用音声としてご利用いただけます。 ・ 視線入力装置と組み合わせて使うことができます。	障害者のコミュニケーション、レクリエーション活動を支援する機器	
11	株式会社　日立ケーイーシステムズ	伝の心	伝の心は、四肢麻痺で発話が困難な重度障害者を対象にした意思伝達装置です。 ・身体の一部をわずかに動かしスイッチ操作を行うことで、文字入力し身近な人と音声合成音でコミュニケーションがとれます。 ・学習リモコンでＴＶやエアコン等身の回りの環境を自ら操作でき、患者さんのＱＯＬ(生活の質)の向上を支援します。 ・メール等でこれまでの仕事を継続する、新しい活動を始めるなど、患者さんの積極的な社会参加を支援します。	障害者のコミュニケーション、レクリエーション活動を支援する機器	
12	株式会社ミハマ	介護リフト：寝たきりの方の高速移乗『アルファローラ・７』	バッテリー駆動で、ベッドに寝た状態から30秒で車イス移乗を目標とする。 移動を敏速に行うセントラルロックキャスターを使用します。	障害者の支援を行いやすくする機器	
13	フランスベッド株式会社	ウェイテッドふとん・ひざかけ―認知機能の障害児・者の睡眠を支援する寝具	ウェイテッド ブランケットと呼ばれる重量と触感のある寝具は、睡眠困難のある認知機能の障害児・者に、精神的な落ち着きや安眠をもたらすことが多く見出され、北欧を中心に給付対象の福祉用具として普及している。「ウェイテッドふとん・ひざかけ」は、平成２８・２９年度障害者自立支援機器等開発促進事業での研究および、その後の改良と評価を経て日本の風土・文化になじむように開発した商品化に向けたモデルである。	障害者の支援を行いやすくする機器	

	企業・団体名	製品名	製品概要	製品ジャンル	製品画像
14	株式会社ヨシズカシステムプロダクト	FA02	新型フレームにて更に軽快な操作性を実現！アルミニウム合金の削り出しフレームを採用した革新的なデザインと、マグネシウム合金製の当社オリジナル超軽量ホイールによる純国産品の車椅子！折畳み式でありながらリジットフレーム並みの剛性がある為、直進性も優れ、また簡易電動ユニットとの相性も抜群で、安全でより快適な走りも可能に！	障害者の支援を行いやすくする機器	
15	ジュンコンサルタント	カイダンサット	歩行困難者を乗せて、建物の上層階から、一人で救出できる簡易型階段避難車です。	障害者の支援を行いやすくする機器	
16	マッスル株式会社	POBOHELPER SASUKE RS1-12Y-B	SASUKEは、「抱き上げ式」で移乗介助をアシストするロボット介護機器です。専用シートを敷き込み、その両端にSASUKEのアームを通して、シート全面で抱き上げます。また、レバー操作で、座位から臥位まで自由な姿勢を保持する事ができるので、標準型車いすやリクライニング車いすに幅広く対応できます。シンプルな操作と安定した乗り心地で、介護をうける方・おこなう方の双方に、やさしさと安心をお届けできるロボットです。	障害者の支援を行いやすくする機器	
17	株式会社マイクロブレイン	だれでもワークプロ For iPad	知的障害者の就労を視覚的な支援をするiPad型アプリケーションソフト。 作業工程やマニュアルなど視覚的に支援が必要な知的障害者の就労を促進するために、アナログ式絵カートをタブレットに装備してデジタル絵カードとして支援をするソフトウェア。	障害者の就労を支援する機器	
18	株式会社アイセック・ジャパン	遠隔情報保障サービス AI mimi（仮）	従来の聴覚障がい者向け遠隔情報保障サービス　e-ミミの文字表示の部分を人手によるものではなく、音声認識と人手のハイブリッド化したもので、表出の速さと正確性を一段と向上させた。 聴覚障がい者が参加する授業や講演会・セミナーなどに広く活用が期待される。 従来の人手だけのものに比べ提供価格の低減が期待できる。	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	
19	京　自助具館	弱視児用書見台	一般の書見台よりも就学前の弱視児でも使えるように軽量化とシンプルな使い方を重視した。弱視児の特別教室からの依頼で何度も試作を重ねて製作された物。小学校に進級しても使えるように耐久性も重視した。	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	
20	株式会社インテック	GRUS ボイス GPS ウォッチ	6か国語対応の世界初のアナログタイプのGPS音声腕時計。視覚障害があってもいつでも正確な時間がわかります。当事者から要望の多かった明るさセンサー機能付き。スタイリッシュなデザイン。最新型2モータームーブメント搭載。瞬時に時刻修正をおこないます。弱視の方も使いやすい、視認性の良い文字盤と針。	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	

	企業・団体名	製品名	製品概要	製品ジャンル	製品画像
21	株式会社インハウスDS	The-Braille（ザ・ブレイル）〔プロトタイプ〕	the-Brailleは、スマートフォンを使用する視覚障害者にとって障壁になっている文字の入力を、従来の点字の形状を応用したタッチ操作で行えるようにするキーボードアプリケーションです。通常のキーボードと切り替えて使うことができるため、点字の形状を知っていれば、SNSなどのアプリケーションでもタップやスワイプといった画面上の指先の動作だけで文字を入力できます。	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	
22	株式会社SOBAプロジェクト	複数情報伝達モードを備えたユニバーサルな電話リレーサービス	パソコンやタブレット、スマートフォンなどで、ろう者と聴者がお互いに相手の表情やジェスチャを直接確認したり、手話や手話通訳者を介したり、または複数の情報伝達モードを用いて、意思疎通を図ることが可能な、気軽に利用できるサービス	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	
23	（株）ソナール	・車載（バス・乗用車等）型ヒアリングループ ・新ヒアリングループ受信機（音声認識アプリ対応型）	・バスや移動体にヒアリングループを設備することで、難聴者の聞こえを支援し社会参加を促進する。 ・新型ヒアリングループ受信機はループよりの音声を難聴者が聞きながら、さらに手元のスマホ（タブレット）で音声認識ソフトを活用し、話者の声を文字として確認できる二役の機能があります。	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	バスのヒアリングループ、イメージ図 
24	株式会社ＱＤレーザ	網膜走査型レーザアイウェア	ロービジョンの方を支援します。主に角膜や水晶体に起因する方の視力改善を想定しています。さらに網膜投影による総合的な視覚支援の実現を目指します。特別な設計の光学系が、角膜や水晶体(レンズ)の状態に左右されにくく、視力やピント位置にほぼ関係なく鮮明な画像を提供します。また、「肉眼の映像」と「投影した映像」が自然に重なり、SFの世界のような新しいAR 体験を実現します。	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	
25	株式会社KOSUGE	みちびきを利用した歩行経路案内、信号機カメラ	NEDO事業にて開発してきた、視覚障害者が同行援護できない場合に、安全に、迷子になることを防ぐように、予め晴眼者と共に歩行して登録した歩行経路を、i-Phoneの振動する方向に案内してもらい、もしくはルートから外れた時に腕に付けたリストバンドに振動を発生させて、正しい方向に案内させる。信号機の場所では、音声にて連絡するとともに、i-Phoneに組み込んだ信号機カメラにて、色を音声にて案内する。	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	

令和元年度障害者自立支援機器等開発促進事業　開発機関　福岡会場出展一覧【令和元年１０月７日現在】

	企業・団体名	製品名	製品概要	製品ジャンル	製品画像
1	株式会社システムネットワーク	没入型VRによる視空間認知障害者のためのADL自立促進システム	ＶＲゴーグルを活用した半側空間無視（高次脳機能障害）の方、向けのＡＤＬ支援システム。 これまでは、二次元的な評価に留まっていた部分を三次元的にかつ客観的に評価し、遠位・近位での評価をすることが可能です。またスリットシステムを活用することで無視領域の軽減を図ることが可能となり、ＡＤＬ場面を想定した訓練も可能となっています。	ロボット技術を活用した支援機器、脳科学の成果を応用した機器	
2	CYBERDYNE株式会社	体幹トレーニング支援機器	身体に障害を持つ方が自宅で自主的に行う体幹トレーニングを支援する機器です。座圧を計測するセンサの上に座り、モニターを見ながら座圧中心を移動させる身体の動かし方をトレーニングすることができます。使用者の体幹機能の向上による排便・排泄の調整支援や座位・立位時のバランスの安定化を促し、さらに自宅以外でのロボットスーツHAL®を使用したトレーニングを組み合わせて行うことで障害者の自立促進が期待されます。	ロボット技術を活用した支援機器、脳科学の成果を応用した機器	 座圧中心 モニター （手すり） 圧力センサシート （ベッドや椅子）
3	株式会社今仙技術研究所	低年齢児向け移動支援機器	座位保持椅子、障害児用バギー（車椅子の手押し型B）を電動化するためのユニット。移動が目的の電動車椅子とは違い、移動することによる心理面、社会性の発達に寄与する製品	難病・障害児の自立支援機器	
4	株式会社　コンピュータサイエンス研究所	視覚障害者のIoH化と情報共有クラウドによる移動支援システム	日本語の音声対話によって視覚障害者を支援しながら目的地まで道案内を行います。 視覚障害者のIoH（Internet of Human）化を目指して、視覚障害者が入出力装置であるウェアラブル端末（各種センサー装備）を身につけ、装置を通して目的地までの経路や、カメラを通して取得した障害物のリアルタイムな情報を元に，より安心・安全に歩行ができるシステムを提供します。	聴覚障害者・視覚障害者・盲ろう者の自立支援機器	